

都市再生整備計画

ほくとししんはこだてほくとえきしゅうへんちく
北斗市新函館北斗駅周辺地区

ほっかいどう ほくとし
北海道 北斗市

平成28年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	北海道	市町村名	ほくとし 北斗市	地区名	ほくとししほにだてほくとまがしほうへんちく 北斗市新函館北斗駅周辺地区	面積	127.5 ha				
計画期間	平成	28 年度	～	平成	28 年度	交付期間	平成	年度	～	平成	年度

目標 大目標 北海道新幹線新駅の開業に伴う、駅前商業施設整備による低未利用地の活用・新たな都市拠点の創出と地域の活性化 目標1 駅前に新たに複合型宿泊施設を整備し活力のある商業地を形成する

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 本地区は、平成28年3月の北海道新幹線開業に合わせ、新函館北斗駅南側約13.5haを土地区画整理事業等の手法により道路網等の整備を行ってきた。 同駅周辺には新幹線開業効果を活かした商業拠点としての発展が期待されるところである。
--

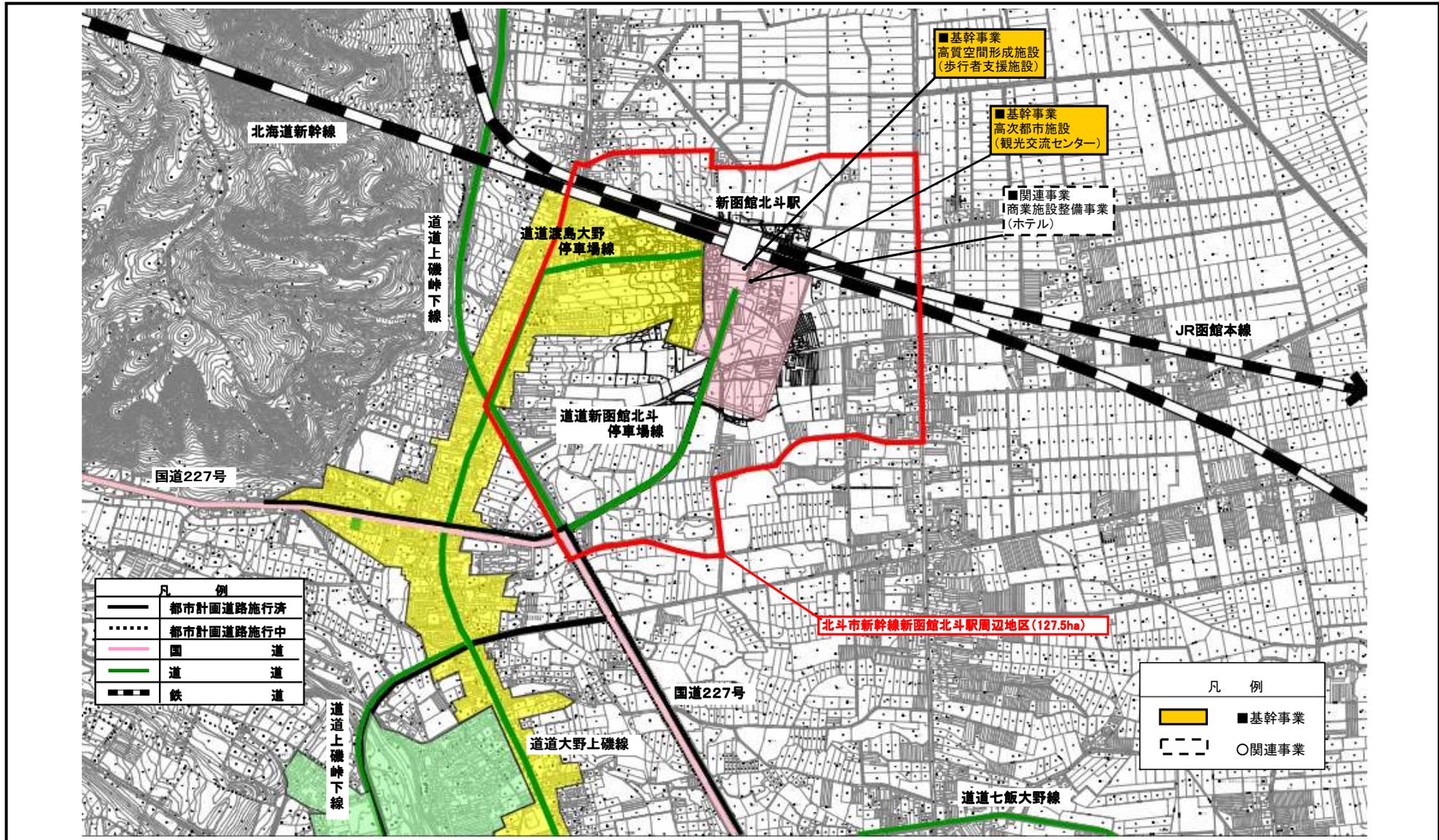
課題 本地区は、新たな都市拠点の創造を図るため、商業地としての土地建物の誘導を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期) ①第一次北斗市総合計画(H20～29年度) 道央・道南・東北を業務エリアとした広域ビジネス拠点の形成を目指し、新駅南側は多様な乗換機能を配した駅前広場、駐車場及び憩いの場を整備し、交通利便性を生かした都市活動空間を創出するものとして位置づけられている。 ②北海道新幹線新函館(仮称)新駅周辺地区振興計画(H19年度) 交通利便性を充実させた交通拠点の形成を目指し、交通機関の乗換機能、公共サービス及び宿泊、飲食、購買等商業機能を提供するとともに、各地への移動時間が大幅に短縮されることから、道央・道南、東北を業務エリアとした広域ビジネス拠点の形成を目指し、各種業務用地を提供することとしている。 さらに、交通利便性の向上により交流人口の増加が見込まれることから、地場産業振興に資するまちづくりを目指し、アンテナショップや滞在型農水産体験観光などの情報発信の場を提供することとしている。
--

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
民間商業床面積の増加	m ²	区域内の商業施設の延べ床面積	にぎわいのある商業地形成及び地域住民の利便性向上のため、商業施設の増加を目指す。	1,260 m ²	27	6,000 m ²	28

都市再生整備計画の区域

ほくとししんはこだてほくとえきしゅうへんちく ほっかいどうほくとし 北斗市新函館北斗駅周辺地区(北海道北斗市)	面積	127.5 ha	区域	北斗市 市渡及び稲里の一部
--	----	----------	----	---------------



ほくとししんはこだてほくとえきしゅうへんちく ほっかいどうほくとし せいびほうしんがいようく
 北斗市新函館北斗駅周辺地区(北海道北斗市) 整備方針概要区

目 標	大目標: 北海道新幹線新駅開業に伴う、駅前商業施設整備による低未利用地の活用・新たな都市拠点の創出と地域の活性化	代表的な指標	民間商業床面積の増加(m ²)	1,260(H27年度) → 6,000(H28年度)
	目標1: 駅前に新たに複合型宿泊施設を整備し活力のある商業地を形成する			

